

## 研 修 早 川 貴 光 議 員

研修：第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

日時：平成30年11月14日(水)・平成30年11月15日(木)

場所：宇都宮市文化会館(栃木県宇都宮市明保野町7-66)

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～宇都宮駅	鉄道	往復	111.0	1,940				1,940
佐野駅～宇都宮駅	鉄道	往復	111.0	1,940				1,940
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				3,880	0	0	0	3,880

宿泊料@16,500×0泊	0 円
交通費	3,880 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	3,880 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 恩田 俊彦 

0529

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

佐野市議会 早川 貴光 様

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 山田

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)

領 収 書

早 川 貴 光 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

平成30年11月28日

両毛六市議員懇談会

会 長 工 藤 英 人



領 収 書

早 川 貴 光 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として  
上記金額を領収いたしました。

平成31年1月30日

両毛六市議会議長会会長  
桐生市議会議長 森 山 享

大



第13回



# 全国市議会議長会 研究フォーラム



平成30年

日時

11月14日(水)・15日(木)

13:00~(開場・受付12:00~) 9:00~(開場8:30~)

会場

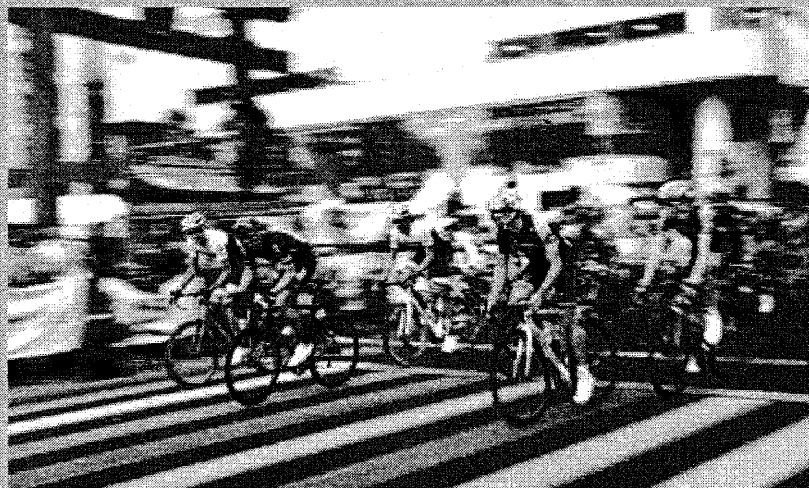
宇都宮市文化会館  
栃木県宇都宮市明保野町7-66

定員

2,200名

参加費

7,000円



開催趣旨

地方分権改革の進展や地方創生の推進により、都市に対して基礎自治体としての役割が一層期待される中、市民の負託と信頼に的確に応えるべく議会の更なる機能向上策を研究することを目的とする。



# プログラム

## ■第1日目 11月14日\*

12:00	開場・受付
13:00	開会式
13:20	第1部 基調講演 「共生社会と地方自治体(仮)」 宮本 太郎 中央大学法学部教授
14:20	休憩
14:40	第2部 パネルディスカッション 「議会と住民の関係について(仮)」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授 パネリスト 今井 照 地方自治総合研究所主任研究員 本田 節 有限会社ひまわり亭代表取締役 神田 誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者 小林 紀夫 宇都宮市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	次期開催地挨拶終了
18:00	第3部 意見交換会【会場＝宇都宮グランドホテル】
19:00	意見交換会終了

## ■第2日目 11月15日\*

8:30	開場
9:00	第4部 課題討議 「議会と住民の関係について(仮)」 コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授 コーディネーター 4市(予定)
11:00	閉会式
11:30	第5部 視察

## 基調講演

宮本 太郎 みやもと たろう  
中央大学法学部教授



1958年東京都生まれ。中央大学大学院法学研究科修了。立命館大学法学部助教授、北海道大学法学部教授などを経て、2013年より現職。著書に「共生保障(支え合い)の戦略」(岩波新書)、「生活保障 擦れない社会へ」(岩波新書)ほか多数。編著に「転げ落ちない社会 困窮と孤立をふせぐ制度戦略」(勁草書房)など。安心社会実現会議委員、内閣府参事、総務省顧問、男女共同参画会議委員、中央教育審議会臨時委員、社会保障制度改革国民会議委員など歴任。現在、日本学術会議特任選考委員、社会保障審議会委員、東京都制憲調査委員会、全国社会福祉協議会理事、「月刊福祉」編集委員長、一般社団法人「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」代表理事などを務める。

## パネルディスカッション



コーディネーター

江藤 俊昭 えとう としあき  
山梨学院大学大学院研究科長・教授

1956年東京都生まれ。1986(昭和61)年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士(政治学)。専攻は地域政治論。三重県議会改革審議会委員、鳥取県智恵子町行政改革審議会委員、第29次第30次地方制度調査会委員、総務省「町村議会のあり方に関する研究会」委員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「議員報酬等に関する研究会」委員長、全国町村議会議長会「議決事項審査委員会」、地方自治研究機構評議員、など務める。主な著書に、「議会改革の第二ステップ―信頼される議会づくりへ」(ぎょうせい)、「自治体議会の政策サイクル」(編著、公人の友社)ほか多数。現在「カバナンス」(ぎょうせい刊)、「議員NAVI」(第一法規)連載中。



パネリスト

今井 照 いまい あきら  
(公財)地方自治総合研究所主任研究員

1953年生まれ。博士(政治学)。東京大学文学部社会学専修課程卒業。1977年から東京都立学校事務、大田区役所(企画部、産業経済部、地域振興課等)を経て、1999年から福島大学行政政策学助教授。2017年より現職。著書に「地方自治論」(自治体再建)、「いざ、もくま新書」(困窮よくなる地方自治のしくみ(第5次改訂版))、「学問書房」(編著)「インサイドストーリー―役場職員が見た新卒進退と異業復興」(公人の友社)ほか多数。



パネリスト

本田 節 ほんだ せつ  
有限会社 ひまわり亭代表取締役  
食・農・人総合研究所 リュウキンカの郷主

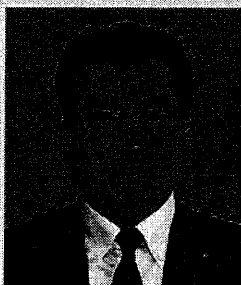
熊本県球磨郡相良村の専業農家に生まれ、熊本県立人吉高等学校卒業後、地元の農協に就職。現在3児の母。37歳の時に1年間のガンとの闘病生活を経験。それをきっかけとして、より深く食・農・人について考えるようになる。その後「ひまわりグループ」を結成し、ボランティアやまちづくり活動始める。そこで出会った仲間たちと地産地消「食」を地域資源とした拠点、《郷土の家産料理 ひまわり亭》を立ち上げ現在に至る。生食おしゃべり大好き! おせつがい! 大好き! お料理大好き! そして人間大好き! ということで、全国を講演等で年間の半分近くを走りまわっている元気なお母さん。



パネリスト

神田 誠司 かんだ せいじ  
朝日新聞大阪本社地域報道部記者

1983年朝日新聞入社。社会部、政治部記者として地方自治、地方分権を取材。両部でアスクを務めた後、2005年から13年間、地方自治担当編集委員。地方議会のあり方についても、全国議会アンケートをもとにした報道や、連載「議会未来形〜不要論を超えて」や、単発記事などで発信を続けている。2018年4月から現職。著書には「今、地方で何が起きているのか」(共著・公人の友社)、「なぜ権力腐る」(講談社)。今秋には学芸出版社より、地方自治のモデルとして注目される徳島県神山町のルポが刊行予定。



パネリスト

小林 紀夫 こばやし のりお  
宇都宮市議会議長

1961年宇都宮市生まれ。帝京大学大学院経済学研究科修士課程修了。議員を経て2007年5月から宇都宮市議会議員を務め、現在3期目。その間、環境経済常任委員会委員、議会運営委員会委員長、議会制度検討会議委員、監査委員、監査委員を歴任。議会制度検討会議委員時代には、「一般質問における回答方式、質問方式の選択制」や「執行部の民間化」などの実施。2013年に制定された宇都宮市議会基本条例の制定に尽力。2015年5月から2016年3月まで副議長を務め、2018年3月に第72代宇都宮市議会議長に就任。現在議会全体の政策形成能力を高めていくことを目指し、議会改革に取り組んでいる。

## 課題討議

コーディネーター

江藤 俊昭 えとう としあき  
山梨学院大学大学院研究科長・教授

コーディネーター

4市(予定)

平成31年1月30日

於：桐生市 桐生市市民文化会館

---

# 両毛六市議会議長会議員研修会

---

両毛六市議会議長会

## 両毛六市議会議長会議員研修会次第

日 時：平成31年1月30日（水）

午前10時30分～

場 所：桐生市市民文化会館

4階 スカイホールB

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 講師紹介

5 講 演 演題「地方創生」とはどうあるべきか  
講師 東京大学大学院 法学政治学研究科教授

かない としゆき  
金井 利之 氏

6 謝 辞

7 閉 会